

新ど研 銭湯で学ぶカルチャースクール「ふるカル」 第4弾は4人のCMディレクターに学ぶ映像制作入門



株式会社北海道博報堂（札幌市中央区）の研究組織「新どさんご研究所（以下、新ど研）」では銭湯から北海道の文化を発信するプロジェクト「ふるカル」の第4弾を開催いたします。第4弾は「15秒をめぐる冒険～4人のCMディレクターに学ぶ映像制作入門～」と題し、道内企業のCMやWEBムービーを数多く手がける4人のCMディレクターを招いた特別講義です。4人が事前に制作した会場となる銭湯「福の湯」のオリジナル15秒CMを教材に、実際に作った映像を見ながら、演出のポイントや制作のプロセスを学びます。15秒という短い時間の中に、どれほど深い世界があるのか。少しだけのぞいてみる1時間です。セミナー後はもちろんひと風呂浴びて、日頃の疲れを癒してください。

日時	2019年10月5日(土)13:00～14:30（開場12:30）
会場	福の湯 札幌市北区新琴似7条6丁目6-1
講師	桜田威寿・長尾多佳紀・橋本晋也・早川渉
参加費	1,010円(入浴料込)
定員	30名程度

◎ふるカルの詳細、お申込みは特設サイトをご覧ください。

特設サイト：<http://www.fulocal.net>

◎ふるカルの最新情報は、ふるカル公式SNSをご覧ください。



@fulocal



@fulocal



@fulocal_net

開催当日、取材対応させていただきます。

お問い合わせ、ご質問などは下記お問い合わせ先までお願い致します。

■講師紹介



桜田 威寿／CMディレクター

1973年生まれ。札幌デザイナー学院 映像学科(現札幌ビジュアルアーツ)を卒業後、上京。ADKアーツ(現ADKクリエイティブ・ワン)を経て、現在CM制作会社モーニングの企画・演出所属。



長尾 多佳紀／CMディレクター・プロデューサー

1975年札幌生まれ。2011年株式会社Bronson設立。TVCMを中心に、番宣・番組オープニング・企業プロモーション・PV・WEB/SNS広告・イベント映像など、毎年100本以上の作品をディレクション。



橋本 晋也／CMディレクター・コンポージャー

株式会社まちのおとmachi-note代表。音から画をつくったり、その逆も然り。お風呂ではワキから洗ったり、ネコハダで身悶えたり。



早川 渉／CMディレクター・映画監督・大学講師

1964年名古屋市生まれ。CM代表作は「登別クマ牧場」
銭湯は大好きだが暑がりなので長湯はしない派。好きな女優は黒木華。

■会場紹介



福の湯

1971年創業。札幌市北区の住宅街に位置し、古くから地元住民に親しまれている。現在の屋号である「福の湯」には、「入浴されたお客様が幸福な気持ちになれますように」との願いが込められている。石油式でお湯を沸かす銭湯が主流とされる中、材木を利用し沸かしており、利用客からは「お湯が軟らかい」と評判である。

ふるカルとは？

株式会社北海道博報堂の研究組織「新どさんご研究所」が企画・主催するカルチャースクールイベントです。

人々のコミュニケーションに役立っていたまちの銭湯は、札幌市内でもここ20年で143軒から39軒にまで激減しています(※)。孤立化やつながりが希薄化する中で、改めて銭湯の魅力を発信し地域活性化に貢献していきたい。新ど研は、そのような思いで銭湯を文化の発信基地とするプロジェクトを始動いたしました。「ふるカル」では、北海道内で活躍する人を特別講師に迎え、銭湯のロビーや脱衣所を教室にしたカルチャースクールを開校いたします。

※ 厚生労働省「衛生行政報告例」等より

～過去のふるカルの様子～



【新どさんご研究所 概要】

北海道民の今の姿をデータで明らかにしながら、「一歩先の北海道民＝新どさんご」と定義して、その変化を予測・提言する(株)北海道博報堂が設立した研究組織。



新どさんご研究所 所長
山岸 浩之

やまぎし ひろゆき

2014年北海道博報堂入社。コミュニケーション戦略部長兼マーケティング部長として、北海道の様々なクライアントの戦略立案やリサーチを担当。博報堂生活総合研究所 客員研究員。